

令和 7 年 11 月 28 日 開 会

⑥

令和 7 年第 4 回茨城県議会定例会議案

(第 3 綴)

茨 城 県

第163号議案

令和 7 年度 茨城県一般会計補正予算（第 5 号）

令和 7 年度茨城県一般会計の補正予算（第 5 号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第 1 条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9,459,352千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1,285,971,435千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

令和 7 年12月 3 日提出

茨城県知事 大井川 和 彦

第1表 歳入歳出予算補正
歳 出

- 3 -

款	項	補正前の額	補正額	計
5 防災・危機管理費		7,148,144	25,183	7,173,327
	1 防災費	7,114,548	25,183	7,139,731
6 保健医療費		143,875,545	201,800	144,077,345
	1 保健医療費	112,448,318	46,125	112,494,443
	2 保健所費	3,359,087	63,366	3,422,453
	3 医薬費	13,549,218	56,464	13,605,682
	4 環境衛生費	1,363,606	20,521	1,384,127
	5 公衆衛生費	13,155,316	15,324	13,170,640
7 福祉費		92,037,481	141,019	92,178,500
	1 福祉政策費	3,197,324	61,920	3,259,244
	2 生活保護費	5,040,475	1,168	5,041,643
	3 障害福祉費	35,118,591	12,802	35,131,393
	4 長寿福祉費	4,200,604	5,489	4,206,093
	5 児童福祉費	44,480,487	59,640	44,540,127
8 労働費		6,277,290	26,434	6,303,724
	1 労働政策費	2,312,114	5,259	2,317,373
	2 産業人事育成費	3,832,066	18,275	3,850,341
	3 労働委員会費	133,110	2,900	136,010
9 農林水産業費		41,495,728	314,993	41,810,721
	1 農業費	11,558,214	222,265	11,780,479
	2 畜産業費	2,518,425	36,107	2,554,532
	3 林業費	5,972,028	20,394	5,992,422
	4 水産業費	4,476,972	25,543	4,502,515
	5 農地費	16,970,089	10,684	16,980,773

令和 7 年 11 月 28 日 開 会

①

令和 7 年第 4 回茨城県議会定例会議案

茨 城 県

報告第 4 号

地方自治法第179条第 1 項の規定に基づく専決処分について

別記 2 件のとおり専決処分したので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第179条第 3 項の規定に基づき、報告する。
原案承認されたい。

令和 7 年11月28日提出

茨城県知事 大井川 和 彦

別記 2

損害賠償の額の決定について

茨城県栽培漁業センター敷地で発生した車両破損事故について、損害賠償の額を下記のとおり定めるものとする。

記

1 損害賠償の額 金 1,903,358円

2 損害賠償の相手方

個人

3 事故発生の日時及び場所

令和 7 年 3 月 19 日（水）午前 9 時頃

鹿嶋市大字平井2287番地敷地内

4 事故の概要

茨城県栽培漁業センターの魚類棟外壁が、強風によって一部破損し、破片が上記場所に駐車していた普通乗用自動車に落下して、普通乗用自動車が損傷した。

上記については、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであるので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第179条第1項の規定に基づき、専決処分する。

令和 7 年 11 月 20 日

茨城県知事 大井川 和彦

令和 7 年第 4 回定例会 営業戦略農林水産委員会資料

1. 諸般の報告	(頁)
(1) サツマイモ基腐病への対応について	2
(2) 2025 年農林業センサス結果の概要（概数値）について	3
(3) 令和 7 年産米における本県産米の状況について	4
(4) 第 5 回「いばらき米の極み頂上コンテスト」の開催結果について	5
(5) 「常陸乃国まさば」フェアの実施について	6
(6) 「常陸国天然まがも」の取組について	7
(7) 茨城県植物園等のリニューアルオープンについて	8

令和 7 年 12 月 9 日
農 林 水 産 部

(1) サツマイモ基腐病への対応について

1 発生状況

- 11月5日以降、ひたちなか市の6ほ場においてサツマイモ基腐病の発生を確認。

表 サツマイモ基腐病の発生状況

件数	合計面積 (a)	備考
6	131	11/5：1ほ場 (18a)、11/6：1ほ場 (20a) 11/11：2ほ場 (8a、40a)、11/18：2ほ場 (17a、28a)

2 対応状況

- 本病のまん延防止に万全を期すため、発生ほ場における株の抜き取り・消毒といった通常に対応ではなく、発生ほ場から約500mの範囲における、かんしょ以外の品目も含めた周辺ほ場 (約26ha) の土壌消毒を実施。
- 11月18日に県独自の「サツマイモ基腐病に係る緊急事態宣言 (対象地域：ひたちなか市)」を発出し、かんしょ生産者への注意喚起及び県が実施する防疫措置への協力依頼。
- 11月27日時点で約24haのほ場で土壌消毒を実施 (進捗率92%)。対象地域内の全てのかんしょほ場については、消毒を完了したことから、緊急事態宣言を解除。

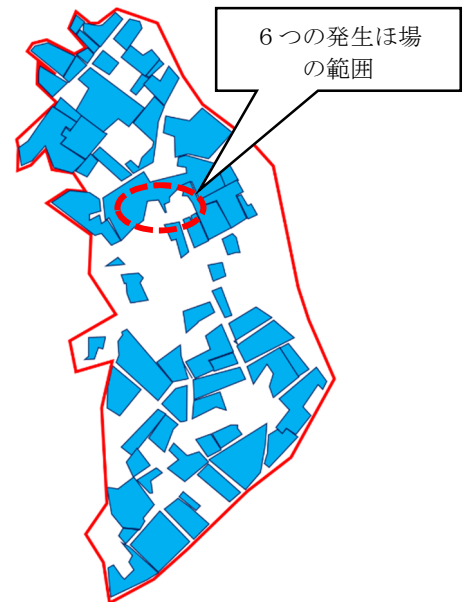


図 発生ほ場から約500mの範囲

3 今後の対応

- 他品目ほ場について、収穫後に消毒を行えるよう耕作者の同意を得ながら消毒を進める。
- 生産履歴等の聞き取り調査等により、発生原因について調査を進める。
- 対象地域を始めとした県内かんしょ産地での警戒を継続する。
- 次作に向けて、県内のかんしょ生産者に対して、本病の総合防除 (①持ち込まない、②増やさない、③残さない) の徹底を改めて指導する。

(2) 2025 年農林業センサス結果の概要（概数値）について

11 月 28 日に農林水産省から「2025 年農林業センサス」の結果（令和 7 年 2 月 1 日現在）の概要（概数値）が公表され、本県における主要な数値は以下のとおりとなった。（前回調査は令和 2（2020）年実施）

1 農業経営体数

- 農業経営体数は 33,386 経営体で全国第 3 位（前回順位 第 1 位）
- このうち、法人経営体数は 912 経営体で全国第 7 位（前回順位 第 9 位）

（単位：経営体、（ ）内は全国順位）

区分	2020 年	2025 年	増減	増減率（%）
農業経営体数	44,852 (1)	33,386 (3)	△ 11,466	△ 25.6
法人経営体数	770 (9)	912 (7)	+ 142	+ 18.4

※農業経営体：経営耕地面積が 30a 以上の規模の農業、農作物の作付面積や栽培面積などが一定規模以上の農業（例：施設野菜 350 m²、肥育牛 1 頭など）、または農作業の受託の事業のいずれかに該当する事業を行う者。

2 経営耕地面積

- 経営耕地面積は 104,591ha で全国第 4 位（前回順位 第 5 位）

（単位：ha、（ ）内は全国順位）

区分	2020 年	2025 年	増減	増減率（%）
経営耕地面積	105,513 (5)	104,591 (4)	△ 922	△ 0.9

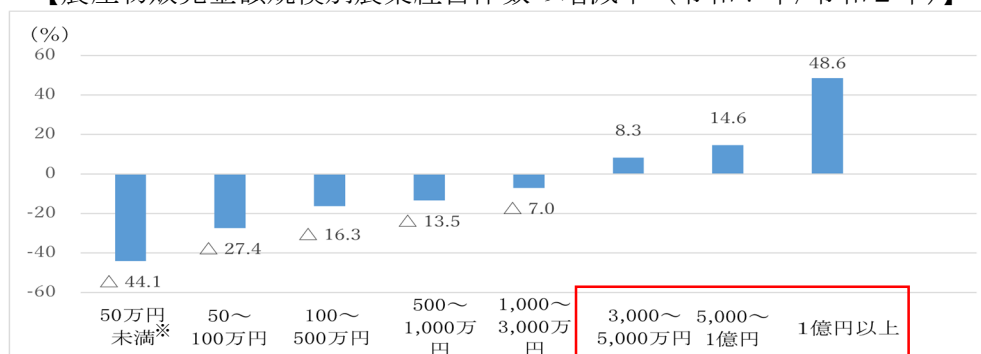
3 大規模農業経営体数

- 経営耕地面積 20ha 以上の経営体数は 858 経営体で全国第 5 位（前回順位 第 8 位）
- 販売金額 1 億円以上の経営体数は 462 経営体で全国第 2 位（前回順位 第 5 位）

（単位：経営体、（ ）内は全国順位）

区分	2020 年	2025 年	増減	増減率（%）
経営耕地面積 20ha 以上	648 (8)	858 (5)	+ 210	+ 32.4
販売金額 1 億円以上	311 (5)	462 (2)	+ 151	+ 48.6

【農産物販売金額規模別農業経営体数の増減率（令和 7 年/令和 2 年）】



※ 50 万円未満の経営体数には販売なしの経営体数も含む。

(3) 令和7年産本県産米の状況について

1 令和7年産米の品質状況

- 農林水産省が公表した10月31日時点における令和7年産米の検査結果によると、本県産米の1等米比率は、「水稻うるち玄米」全体で55.4%となっている（昨年度同月：55.9%）。
- 主な落等要因としては、高温障害により米の粒が白く濁る白未熟粒、水分ストレスにより発生する黒点米、カメムシ類の加害により発生する斑点米が考えられる。

表 茨城県産うるち玄米の1等米比率の比較

単位：%

	うるち玄米				
	合計	早生品種		中生品種	
		あきたこまち	ふくまる SL	コシヒカリ	にじのきらめき
7年産	55.4	68.4	80.4	45.0	64.6
6年産	55.9	59.0	75.4	48.4	73.0

※いずれの年も数値は10月31日時点

2 今後の対応

- 「ふくまる SL」や「にじのきらめき」等の高温耐性品種の導入を推進するとともに、高温耐性を有する県オリジナル品種の育成に取り組む。
- 高温対策を記載した米づくりのチラシを JA グループと連携して作成し、栽培講習会等を通じて県内農家や関係機関へ配布し、高温耐性品種であっても高温対策の徹底を指導するとともに、追肥方法、水管理、土壌改善等の高温対策を現地で実証していく。

(4) 第5回「いばらき米の極み頂上コンテスト」の開催結果について

- 首都圏における県産米の認知度を高めるため、美味しさを極めたいばらきのお米を選ぶ「第5回いばらき米の極み頂上コンテスト」を開催し、県全域から出品された102点の中から最優秀賞が決定。
- 受賞米につきましては、首都圏などでの販路拡大を進めるとともに、消費者への積極的なPRを通じて美味しさを広く発信し、高価格での販売に取り組んでいく。

<参考1> レギュラー米部門の最終審査結果

順位	賞名	生産者名	市町村	品種
1位	ローズドール賞（最優秀賞）	菊池 幸一	大子町	ゆうだい21
2位	アルエット賞（優秀賞）	山田 浩之	河内町	ゆうだい21
3位	プリュエネ賞（優良賞）	谷田部 晃功	大子町	ゆうだい21
4位	入賞	岡田 弘	石岡市	ゆうだい21
5位	入賞	山口 好文	城里町	ゆうだい21
6位	入賞	飯村 昭司	城里町	にじのきらめき

<参考2> 有機米部門の最終審査結果

順位	賞名	生産者名	市町村	品種
1位	ビオ・ローズドール賞（最優秀賞）	藤井 弘文	石岡市	コシヒカリ
2位	ビオ・アルエット賞（優秀賞）	藤田 正美	常陸大宮市	コシヒカリ
3位	ビオ・プリュエネ賞（優良賞）	八戸 敦史	土浦市	コシヒカリ
4位	入賞	大野 満雄	稲敷市	ゆうだい21

- ・審査方法：機器分析による1次審査、2次審査を経て、レギュラー米部門6点、有機部門4点について、審査員による最終審査を実施
- ・最終審査会：令和7年11月21日（金）水戸京成ホテル
- ・審査員：水戸京成ホテル総料理長、5ツ星お米マイスター、炊飯器メーカーの食味担当者 有機農産物小売店の担当者 等



表彰式での記念撮影（レギュラー米部門）

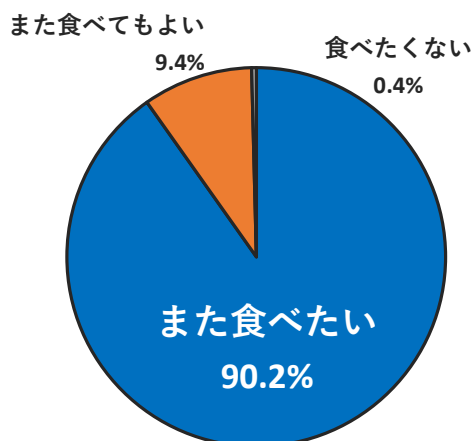
(5) 「常陸乃国まさば」フェアの実施について

- 昨年 11 月にブランド発表し、本県の新たな名物になることが期待されている「常陸乃国まさば」については、年明けの 1 月中旬から 2 月にかけて、認知度向上や販売促進を図るためのフェアを実施する予定。
- フェアの主な参加店は、養殖が行われている那珂湊があるひたちなか市と近隣市町村（大洗町、水戸市等）に所在する、「いばらきの地魚取扱店」や地魚を応援する飲食店となり（30 店舗前後を想定）、早い店舗では、水揚げ当日の昼には消費者に提供される。
- フェアを通じて、生食を推奨できる「常陸乃国まさば」の魅力を発信し、名物化や民間事業者によるまさば養殖事業の育成に取り組んでいく。

(参考 1) 昨年度の流通試験における提供の様子



(参考 2) 消費者からの評価



<主な意見>

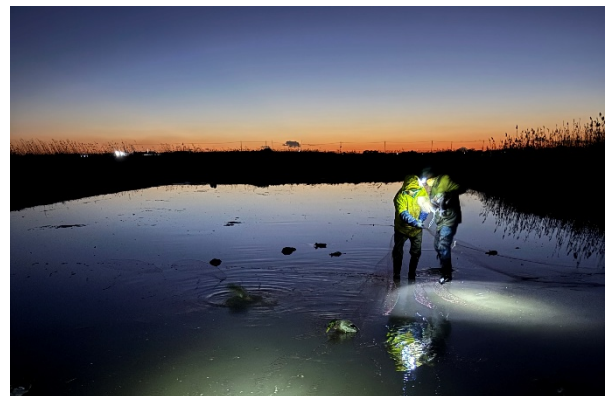
- 臭みなく、とろけるように美味しい
- サバの刺身の美味しさに驚いた
- 今までのサバの概念が大きく変わった
- 人に紹介したい味
- 舌触りよく、ちょうどよい脂の乗り
- 爽やかで旨味がしっかりある
- 九州でサバを食べる必要がなくなった

(6) 常陸国天然まがもの取組について

- 本県は、全国一のレンコン産地だが、全国有数のマガモの飛来地でもあるため、カモの食害によるレンコンの被害額が1億2千7百万円（令和6年度）にのぼるなど、鳥獣被害対策が課題となっている。
- 一方、マガモは、希少な高級食材として料理人や食通から注目されていることから、県では、レンコンの鳥獣被害対策と地域の活性化を目指す取組として、令和5年度から、網猟で捕獲したマガモを「常陸国天然まがも」と名付け、利活用を推進している。
- 昨年度は、ブランド力を強化し本県への誘客につなげるため、県内高級飲食店と連携した常陸国天然まがもフェア（12月1日～2月15日）のほか、著名な食通を招いた試食会（1月8日、1月14日、1月23日）を実施。SNSなどによる食通からの情報発信を行い、食に関心の高い層へ訴求することで来県につながった。
- 今年度も引き続き、レンコンの鳥獣被害対策を推進するとともに、常陸国天然まがもフェアの開催や食に関心の高い方へのPRを通して、本県への誘客につなげることで地域の活性化を図っていく。



常陸国天然まがもフェアチラシ



マガモ捕獲の様子（稲敷市）

<参考> 今年度のフェア概要

【開催期間】 令和7年12月1日～令和8年2月15日

【開催店舗】 県内高級飲食店10店舗

(7) 茨城県植物園等のリニューアルオープンについて

- 「緑に遊び、緑に包まれて眠る、日本初の泊まれる体験型植物園」をコンセプトにリニューアルを進めていた植物園については、11月29日(土)12時に「THE BOTANICAL RESORT 林音(ザ ボタニカルリゾート リンネ)」としてオープンした。
- オープニングイベントとして、ロゴ入りオリジナルタンブラーを先着順でプレゼントしたほか、地域の生産者による野菜や特産品の販売、家具屋による木工ワークショップなどを実施した。
- オープン初日の来場者数は3,169人であり、初日から12月4日(木)までの6日間では、累計12,042人の来場者があった。
- 今後も、営業戦略部と連携し、各メディアに対する働きかけの強化やインフルエンサーを活用したSNSによる情報発信など、集客に向けたPRに取り組んでいく。

<オープン初日の様子>



オープン直後のエントランス周辺



レストラン前の行列



バナラドームカフェの賑わい



温浴施設入口の様子



グランピング施設周辺



地域の生産者による野菜等販売



家具屋による木工ワークショップ



夕暮れのセントラルガーデン